

# 「町ぐるみん白岡」だより

## 町ぐるみで子育てを

「町ぐるみん白岡」会長 野口英夫



平成 21 年 10 月、「みんなで子育て白岡フォーラム」が開催されま

した。目的は、白岡町における家庭と地域の教育力の向上を図り、智力・体力・活力のある白岡の子どもを育てること

にありました。このフォーラムの盛り上がりを引き継ぐ形で、平成 23 年度「町ぐるみん白岡」が産声を上げました。子ども会やスポーツ少年団をはじめ、子どもたちと関わるたくさんの方々が、地域ぐるみ町ぐるみで白岡の子どもたちの健やかな未来を考えるために集まりました。「町ぐるみん白岡」は、

地域で子育て活動を行う団体同士の仲立ちをしたり、新しい取組に発展させたりする接着剤・潤滑剤の役割を担います。子どもたちには、健康で心豊かな育ちを、親たちには自分の子どもの友達にも温かいまなざしを向ける子育て意識を醸成します。皆様のお力添えをお願い申し上げます。



## スポーツふれあい広場

10月5日(水)

「町ぐるみん白岡」最初の事業として、「スポーツふれあい広場」を開催しました。開催校となった菁莪小学校の6年生は、ソフトボール元日本代表監督の宇津木妙子さんとふれあい一緒に身体を動かすことで、スポーツの楽しさを味わいました。

ご自身の経験を踏まえた講話「夢に向かって」では、「夢はかなわないこともあるが、夢があるから頑張れる。夢をもってほしい。」とのメッセージが送られました。

セージが送られました。続く実技指導では、はじめは声の出なかつた子どもたちが、宇津木さんの気力あふれる声に触発され、大きな声を出し機敏に動けるようになりました。最後に子どもたち、先生、お母さん方も宇津木さんのノックを受け、

楽しく熱気あふれる時間を締めくくりました。(南 宣男)



宇津木さんと準備運動する子どもたち

## わんぱく商(笑)店街

11月23日(祝)

あらん限りの声でお客を呼び込む子どもたち。「いらっしやいませ」「できたてほやほやのパンはいかがですかあ」。その愛くるしい姿に癒えて、笑顔で駆け寄る老若男女のお客。どの店にも、手作り感いっぱい品々が所狭しと並ぶ。「おいしそうだねえ」「頑張っているねえ」とお客が声をかける。子どもたちと地域の人々との想いが飛び交う。



焼きたてのパンおいしいですよ！

子どもたちの懸命に働く姿が、商店街に活気と笑顔をもたらしている。子どもたちと地域の人々との交流・つながり（絆）が生まれている。まさに、辺り一帯が商（笑）店街となっていた。  
小学生と高校生、そして商店会の人々との連携、さらにそれを応援する大勢の地域の人々の姿。町民が、子どもたちの成長を見守り、応援する姿が見事なまでに実現されていて、白岡町の明るい未来を見る思いがした。（大門守夫）

2月11日（土）はびすしらかを会場に、町内の学校応援団の交流会が開催されました。菫菫小の応援団と南小のおやじの会の事例発表のあと、10班に分かれた約100人の参加者により、地域ぐるみの子育て活動の進展に向け、熱心な意見交換が行われました。

### 学校応援団交流会

3月3日（土）南小おやじの会が主催する「親子カレーパーティー」に参加しました。班毎にカレーライスを作りながら、普段なかなか持てない家族ぐるみの交流を深めることができました。いつも一味違うカレーの味に、大満足のひとつときを過ごしました。

### 南小親子カレーパーティー

白岡の小道は面白い。曲がりくねった小道が多い。ついづられてその道に入る。目に飛び込んでくるのは庭木や盆栽など、ゆっくり歩くのを深めてくれるものはさまざまある。そのうちに道なのか敷地なのか分からなくなる。急に空き地になったり、駐車場になったりするからだ。この道は地図にのってない。この道に入ると、あとは自分の意志ではない、足にまかせてである。そして出たところに田んぼがある。子育てもそんな小道に似ている。

### 白岡の小道



これだけではない。高速道路の下を流れている川沿いにも小道がある。そこは通学路にもなっているし、生活道にもなっている。他ではあまり聞いたことのない条件の小道だ。高速の下を通る時はだれでも目線が下、それを出ると目線が上になる。そして太陽のありがたさを知る。生きている幸せを感じるといふ。子育てにもトンネルは付きものだ。そんな子育ての小道を白岡で探してみませんか。（篠津小学校校長 西村喜和）

### 缶バッジができました

町内の中学・高校生から公募した図案を基に缶バッジを作りました。「町ぐるみん白岡」の活動を広め、地域ぐるみの子育て活動を支援するシンボルとして多くの方が身に付けてほしいと願っています。町生涯学習課で配布します。



図案作成は、白岡高校1年生野村 絢香さん

編集後記 さわやかな春風にのせて、「町ぐるみん白岡」だより第1号をお届けいたしました。幾度かの会合を重ね皆様のご協力のもと、ようやく刊行の運びとなりました。これからも「町ぐるみん白岡」の活動報告と今後の企画を中心に、より良い紙面作りを心がけて参ります。（牛田文子）